

2024年11月27日

日本船主協会

## シップリサイクルに関する国際フォーラムに参加

当協会は11月12日(火)～13日(水)にかけコペンハーゲンで開催された TradeWinds Ship Recycling Forum に参加し、2025年6月のシップ・リサイクル条約（香港条約）発効を前に、IMO 事務局、関係国政府当局、船主協会、船社、解撤ヤード、船級協会、金融機関など幅広い関係者と意見交換を行いました。

シップリサイクルとサーキュラーエコノミーに関するセッションでは、当協会岩佐久美子解撤幹事長（川崎汽船 経営企画グループ 担当部長）がパネルディスカッションに参加し、会員会社の運航船において、グリーン鋼材のみを利用した船舶が最近就航した例などに触れ、造船と解撤の中間を担う船主として、安全運航を行い、良い状態で船を維持し、グリーンな解撤業者に引き渡すことを通じサーキュラーエコノミー実現に貢献したいと表明しました。また、こうした循環促進に向け、当協会はこれまでも香港条約水準の認証を受けたグリーンヤードへの売却を推奨してきており、条約発効を前に、こうしたヤードの拡大が急務である点を強調しました。

その他のセッションでは、日本政府をはじめとする多くの関係者から、香港条約とバーゼル条約（有害廃棄物の越境移動を規制）の適用の明確化、即ち解撤船舶の越境移動に関しては香港条約のみが適用される点が確実にされることが必要、などの指摘がありました。



パネルで発言する岩佐幹事長（右）



フォーラムの様様

以上